

Young Entrepreneurs Group of  
The Fukui Chamber of Commerce and Industry

# YEG FUKUI



vol. **85**

発行日/平成9年11月5日発行  
発行所/福井商工会議所青年部  
福井市西木田2-8-1  
TEL: 0776-36-8111  
FAX: 0776-36-8588

福居

発行者/三村 貞二  
編集者/山岸 寛士

福井商工会議所 青年部会報





◆ The 対談 ◆

Jリーガー ヴェルディ川崎 柱谷哲二選手と対談

3

変革の時代、売り方も変えていかななくては。  
(株)ヤスサキ 安崎社長にインタビュー

4

◆ おじゃまします 例会訪問 ◆

富山県高岡Y E G 10月例会に参加  
福井法人会青年部 9月定例研修会 訪問

5

インターネット事始め (その3)

6

よろしくお願ひします 新入会員紹介

7

◆ Y E G 活動報告 ◆

7月例会 武生・鯖江・福井三単会交流会

8月例会 話し方研修セミナー

9月例会 「ワイン・ラボラトリー」見学

8

爆裂! サンバカーニバル

9

商青連中央研修ヤングリーダー研修 報告

10

夏のレクリエーション (家族キャンプ)

リレーコラム

11

第15回商工会議所青年部 近畿ブロック兵庫大会開催

新入会員オリエンテーション及び先進企業視察

12

地域のまちづくりに青年部も応援

言いたい放題

13

Y E G 伝言板

編集後記

14

表紙: ヴェルディ川崎 柱谷哲二氏

Jリーガー

ヴェルディ川崎 柱谷哲二選手と対談

今回より、会報「福居」に新シリーズ「The 対談」を開始する事になりました。このシリーズの主旨は、福井にゆかりのある人、福井を訪れた著名人、そして、若き青年経済人に助言をくださる方々に対談を申し込み、青年部の視野拡大と福井の親善大使拡大をめざしスタートしました。第1回目として去る7月24日、ポートヒル芳泉において、サッカーJリーグ第二ステージに向けて、三国町のテクノポート福井で練習を行っている、ヴェルディ川崎の柱谷哲二選手と、対談することができました。

お相手は、当青年部三村貞二会長・田中義乃副会長。

■三村会長: 今年で、福井での練習は3年目になりますが、福井の感想は、いかがですか?

●柱谷選手: グランドは、最高に整備されているし、スケジュールは、十分消化しています。朝6:30から練習を始め、夜24:00までにマッサージを終えて寝る生活のため、福井市内には、出たことがないです。



我々は練習をしに来ているので、プロとして100%練習している。

■三村会長: それでは、三国の印象は、どうですか?

●柱谷選手: 三国の町は、町おこしを盛んに行っている印象がありますね。受け入れてくれる、スタッフもファンの方々も、熱心に応援して下さる。ありがたいです。

■田中副会長: チームでは、最年長(34歳)で、前回のワールドカップ予選では、キャプテンをされていましたが、チームをまとめるポイントは、なんですか?

●柱谷選手: 若い選手の扱いは、難しいですね。ちょっとしたことでふくれまます。どこで、自分を引くか、どこで相手を引かせるかが問題です。この接点を見つけることが、チームをまとめるポイントなんでしょう。これは、練習でしか行えないです。試合は全てを出す場ですから試す余裕はない。練習こそ重要であり、試合は単なる練習の結果でしかないと考えています。

■三村会長: 後輩への指導についての考え方を教えてください。

●柱谷選手: プロとして自分が現役の内は、自分を伸ばすことを考えます。しかし、若い選手にも伸びてほ

しい。その能力を引き出す事はするが、教えることはしません。冷たいようですが。

■田中副会長: 自己管理も非常に重要と思いますが、どういうことに心がけていらっしゃいますか?

●柱谷選手: お酒は、極力飲まないようにしています。これは、私の場合ですけど、飲む場合はワインにしています。ワインは良いと聞いています。

食生活は、選手の奥さんの大半は、1年間ほど栄養士さんに付いて指導を受け、徹底した栄養学を学び夫をサポートしています。

■三村会長: 最後に、ご縁がありこうして福井に来られていますので、この福井を第二のフランチャイズとし、来年もおこし下さることを期待しています。

●柱谷選手: 福井の印象は、選手全員非常に良いので、福井の事を話す機会があるときは、広告塔として話していきたいと思っています。

■三村、田中: では、福井のことよろしくお願ひします。本日は、ありがとうございました。

終始、和やかな雰囲気の中、30分の対談が終わった。柱谷選手には、10分の約束を大幅に延長していただき、熱心にお話いただいた。

プロスポーツ選手と我ら青年経済人、戦うフィールドは違うが、熱き思いは共通するところが多くある。個人、家族、チーム、組織、サポーター、地域に支えられていることを実感した。又、話の裏からは、利害関係のない純粹な想いと、プロとしての利害関係から生じる想いとの葛藤が読みとれた。



柱谷哲二 1964年7月15日京都府生まれ。身長182cm、体重70kg。ポジションはDF(ディフェンス・フィルダー)。チームでは最年長になり、チームの要として活躍。また、前ワールドカップ予選全日本代表チームのキャプテンもつとめられ、多くの信頼を寄せています。

## 変革の時代、売り方も変えていかなくては。 (株)ヤスサキ社長 安崎政士氏にインタビュー

9月22日(月) (株)ヤスサキ本社におじゃまして、同社代表取締役社長 安崎政士氏にインタビューをお願いしました。「パワーシティ新保(ワイプラザ)」のオープンなど、なにかと話題のたえない安崎社長に、事業ビジョンなどを語っていただきました。



**司会:**「パワーシティ新保」のオープンが間近にせまっていますが、どういう営業展開をお考えでしょうか?

**安崎:**変革の時代、売り方も変えていかなくてはなりません。既存店の売上げは、間違いなく落ちています。それは、人と商品と場所、この3つに関係があるのだと思います。特に場所、我々で言うと店舗をどう開拓するかということに尽きます。今まで作ってきたものを壊して、また新たに作っていくべき時ではないでしょうか。それは、

すべての業界に言えることだと思います。特に、規制に守られた業界というのは遅れていますから、大変だと思います。我々の業界の話題を言うと、「ヤオハン」があんな状態になってしまいました。「ヤオハン」の戦略というのはすばらしいと思うんです。社員教育の方法もすばらしいものがありました。それでもだめになる。そういう意味では、これからどうなるのか、我々も予想できません。それなりに落ち着いていく方向というのはあるんでしょうが、競争というのはこれから避けられないでしょう。名案があるなら、教えてほしいです。

**司会:**福井の商業界においてはいかがでしょうか。このまま郊外に発展していくのでしょうか?

**安崎:**中心部か郊外か、その両方でしょう。その中間が厳しいですね、現状では。それは全国どこへ行っても同じですよ。ドーナツ化現象はどんどん進んでいます。我々はお客が移ると同時に、店を移すんです。これはどうしようもない。だから郊外に行くというのは



必然的ですね。中心部はもっと交通体系をよくしないと行けません。そこへ行くまでの交通機関をよくし

ないと、少々の駐車場を作っても効果はないと思います。金沢の香林坊や片町もひどいもんですよ。若いごく一部のお客しかこない。昔はあそこがすごく繁盛したのですが、今では生活必需品も売れないみたいです。そうかと思うと、「プラント2」みたいな商売は、金沢でももの

すごく脚光をあびているし。  
**司会:**福井YEGもなんとか駅周辺を活性化しようということで、取り組んでいるんですけど。

**安崎:**やっぱり駅周辺が大事ですね。これだけ世の中が早く回ってくると、行政の判断も難しいのでしょうか。文化とか健康にばかり目を向けて、商業の発展には力をいれなくなってしまいました。今度の県立音楽堂にしてもそうでしょう。

**司会:**周辺を含めた開発も考えていらっしゃるのかわかりませんが、ぼつんと音楽堂だけあったのでは、商業としては開発できませんよね。

**安崎:**なかなかね。だから、商業というのは、交通機関が大事です。たとえば駅があったら駅のまわりにはりついていましょう。ところが県立武道館はどうですか、あれだけのものがありながら、ぜんぜん周りになにもできていないでしょう。

**司会:**我々、若手の経済人になにかよいアドバイスがありましたら、ぜひ、お聞きしたいのですが。

**安崎:**若手の経済人って。わたしも若手のつもりですが。  
**司会:**それは十分わかっています。(笑)

**安崎:**とにかく新しい物ができたら、どんどん見ることです。真っ先に見に行ってみる。見たものしか信用できない、考えたものではだめだと思います。人よりも先に行く。一年遅れたら、それで一年遅れると思わなくてはなりません。たとえば、私はもう行きましたけど、JR京都駅の「伊勢丹」、京都のこんな所にこんなものができたのかと、びっくりしますよ。しかし、おもしろい時代じゃないかな。どう読み取るかですね。これからは楽しくやらなくてはなりません。おもしろおかしく。当社でもアミューズメントとか遊びの感覚というようなものが、どんどん増えると思いますよ。今までのものにいろんなものをプラスして。

**司会:**本日はお忙しいところどうもありがとうございました。



## 富山県 高岡YEG 10月例会に参加

10月9日さわやかな秋空の中、高岡YEG10月例会に参加してきました。内容は、経営戦略委員会担当例会として、「八起会」会長野口誠一氏による「勝ち残る経営」というタイトルで90分の卓話が行われました。卓話の内容は野口会長の経験談で始まり、「興す社長とつぶす社長の違い」、「倒産の恐ろしさ、等の内容で、「企業は売り上げの良い時期に危機感を持って、悪くなってからでは遅い」「倒産の理由はトップに原因がある、他人のせいではない」「トップとしての資質は、何かに気づいたら変えられる人」等、我々経営者としては耳の痛い内容であった。ちなみに、【八起会倒産110番】は、03-3835-9510です。

高岡YEGに訪問してまず驚いたのは、会員数が北野会長以下216名、例会参加者120名という人数の積極性と、昨年設立30周年だったという活動の歴史でした。今回の講師謝礼も15万円だとか。なんといってもメンバー数の多さで、ピーク時には260名だったというこ

おじゃまします。  
例会訪問



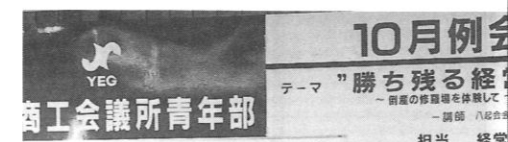
福井法人会青年部  
中山 芳男 会長

9月8日(月)午後6時30分より、福井県職員会館におきまして、福井法人会青年部の定例研修会がありました。取材にお伺いしましたところ、あじさい会の例会かと思われるほど、我々YEGのOBのみなさんが多くいらっしゃいました。法人会青年部の卒業年齢は50歳との事でこういう現象になっているみたいです。YEGを卒業しても青年と呼ばれたい方は、ぜひ入会して下さい。

研修会の内容は、大野内科消化器科医院の院長による、「長生きのコツ教えます」という演題でした。



おじゃまします。  
例会訪問



とです。

組織は、会長以下専務理事・副会長5名、委員会数14、各委員会20人体制となっています。また、会長は40歳以下の人物を輩出していることも何年か前からの通例とのこと。

驚きと興奮の半日行でした。次の機会には、高岡YEGと食事を交えた交流にしたいものです。

佐々木 清史



## 福井法人会青年部 9月定例研修会 訪問

先生によりますと、脳卒中、心筋梗塞、がん、この3つにさえならなければ、病気で、まず死なないと

の事です。  
がんについては、胃がん、肺がん、大腸がん、女性の場合これに加えて、乳がん、子宮がんがほとんどなので、これらにさえ気をつければよいそうです。

胃は40歳より、大腸は50歳より、2年に一度、内視鏡により検診すれば、まず大丈夫との事です。レントゲンによる検診は、誤診が多いので、やめたほうがよいそうです。脳卒中、心筋梗塞については、脂肪肝、高脂血症、糖尿病、肥満の動脈硬化4大危険因子に気をつけて下さいとの事です。

たいへん気さくで、ラジカルな先生でした。内視鏡を大腸の先端までつっこめる腕を持っておられるとの事です。1時間で終わりますので、40歳以上の方は、内視鏡による検診を受けられる事をおすすめいたします。

佐々木 茂



# インターネット事始め

(その3)

～始動！青年部メーリング・リスト その名も[EG-mail]～



みなさん、こんにちは。ホントに連載になってしまいました(^\_^)。毎回、駄文で申し訳ないんですが、懲りずにおつき合下さいませ。さて、表題にも示しましたが、NTT福井支店マルチメディア推進部の堀田雅一さんのご厚意により、私達、青年部のためのメーリングリスト（以下、MLという）が開設されました。堀田さん、ありがとうございます。紙面上ではございますが、一言お礼申し上げます。

前回、ちらっとご紹介しましたML。ここで、もう一度、MLの説明をいたします。MLってそのまんま解釈すると、メール（手紙）のリスト（一覧）です(^\_^)。複数の人がグループ（リスト）をつくり、そのグループ相手に手紙（メール）をやりとりすることで、グループに所属している人すべてに、このメールが送られる仕組みです。FAXの「同報送信」に似たようなもんだと解釈していただいても結構かと思えます。つまり、あるメールアドレスのリストに対して、電子メールを送信することで、そのリストに登録されている相手全てに対してコミュニケーションをとることを可能にするのです。

このMLは、意志伝達の伝言板として利用したり、打ち合わせなどの会議をしたり、その利用法は様々あります。特に、議論する場としては効果を発揮しま

す。私自身、いくつかのMLに参加していますが、特に、不動産関係のMLでは、会ったこともない全国の業者さん達と、インターネット上に特定団体を作ってしまうまでの成果をあげて、なお続行中です。

また、青年部の活動に利用すると、電子メールを使うのですから、特に時間に縛られることもありませんので、例えば、委員会の活動の一部（打ち合わせなど）をこのML上で行えば、どうしても時間の都合がつかず委員会に参加できず、議論の成り行きをつかむことができないという人も、MLに参加すれば、その議論の過程がすべてメールとして記録・確認できるわけですから、後々の食い違いがなくなる、というような効果が期待できます。

さて、能書きはこれくらいにして、電子メールを利用できる方は、すぐにでも青年部ML EG-mailに参加して下さい。これからの青年部の活動の新しい方向性を発掘し、それに参加することで、青年部の歴史に名を残すことができるかもしれません（少し大げさかな）。参加申し込みに関しては、私か、江守さん（y-emori@mitene.or.jp）宛に、参加希望の旨のメールを下さるだけで結構です。みなさんのご参加お待ちしております。

～\(^o^)/ マママ～

メディア委員会 清水 榮一

FUKUTOH Construction

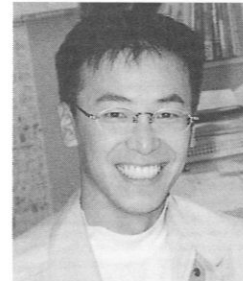
Eiichi Shimizu

<http://www.fukutoh.co.jp/>

<mailto:webmaster@fukutoh.co.jp>

## よろしくお願いします 新入会員紹介

'97年4月以降入会会員

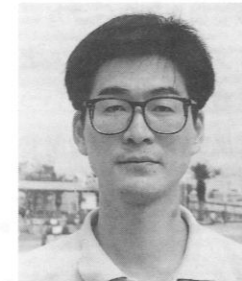


A型 S48.6.10

いがらし よし のり  
五十嵐 嘉 紀

勤務先：(株)ショーセイ  
TEL：0776-52-2100  
FAX：0776-52-2112  
業 種：電気工事業  
会員交流委員会

青年部の活動を通して、社会に貢献すると共に、自分自身を高めていきたいと思っています。



B型 S39.10.13

いわもと おさむ  
岩 本 修

勤務先：岩本設計  
TEL：0776-25-0531  
FAX：0776-25-0568  
業 種：建築設計・監理  
会員交流委員会

入会間もないのですが、いろいろな機会に参加して行きたいと思っています。よろしくお願いします。



B型 S30.11.16

さ の なお や  
佐 野 直 哉

勤務先：豊国建設(株)福井営業所  
TEL：0776-36-2626  
FAX：0776-35-4661  
業 種：総合建設業  
市民ネットワーク委員会

様々な方と出会い、縁を深めていきたいと思っています。

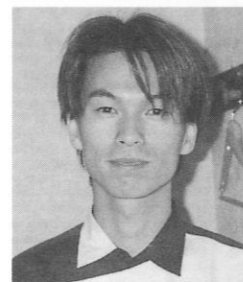


A型 S31.4.28

たか くら まさ ひろ  
高 倉 政 宏

勤務先：(株)高倉木材  
TEL：0776-23-2266  
FAX：0776-24-8775  
業 種：木材販売  
例会研修委員会

40歳過ぎての入会なので、残された時間一杯活動したいと思っています。これからよろしく。

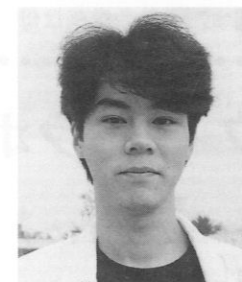


A型 S48.11.25

た な なか ひろ む  
田 中 裕 務

勤務先：チャイナジャム  
TEL：0776-28-3574  
FAX：—  
業 種：飲食業  
総務委員会

いろいろな方と知り合い、様々なことを学び、自分の糧としていきたいと思っています。

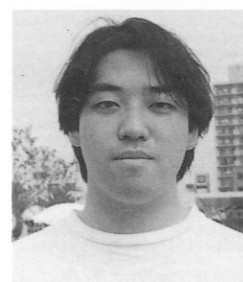


A型 S47.12.12

ひら の あきら  
平 野 暁

勤務先：(株)ニューフェイス  
TEL：0776-22-6511  
FAX：0776-22-4855  
業 種：舞台技術・総合広告代理店  
総務委員会

舞台・テレビなどの照明・音響美術プランと操作、また各種催し物の企画・制作を行っています。私は主に照明を担当しております。どうぞよろしくお願いいたします。

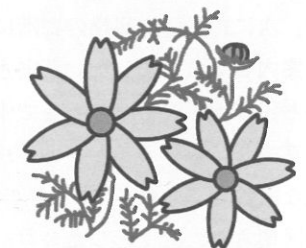


A型 S50.10.29

まつ かわ たけ ゆき  
松 川 剛 之

勤務先：(株)携帯電話センター  
TEL：0776-29-1500  
FAX：0776-29-2400  
業 種：通信機販売  
会員交流委員会

オリエンテーションは、初めての青年部活動への参加でしたが、みなさん個性的で楽しいばかりでした。これからがとても楽しみです。



## 7月例会 武生・鯖江・福井三単会交流会 (7月16日)

武生・鯖江・福井の各商工会議所青年部の合同会議が、去る7月16日に7月度例会「三単会交流会」として行われました。

各YEGが入りまじって6つの委員会別テーブルに分かれて着席。目の前にはオードブル・カンパイルといった趣向でまずはカンパイ！そして自己紹介。いつもとはちがった雰囲気、始めて出会う人ながらYEG同士ということで会話ははずみました。

そして、どこの委員会でもなやみの種はあるようで、あっちでワイワイ、こっちでガヤガヤ。文字通りのグループ討議になりました。

討議終了後、グループ代表から発表が行われたのち各単会PRタイム！我が福井YEGはパソコン、プロジェクター持ち込みでホームページを紹介。他単会もそれぞれ大いにPRされ、なごやかなうちに閉会の挨拶となりました。 森永 克彦

## 8月例会 話し方研修セミナー (8月20日)

8月例会は、(株)カルチャークラブ北陸の栗田隆司氏をお招きし、話し方研修セミナーを開催しました。

着衣の乱れには寛容な各々方も、昨今の言葉の乱れには関心が高いようで、時折冷や汗を流しながらも、皆熱心に聞き入っていました。

言葉は文化です。あなたの口から出た言葉で、知性や教養等、今まで営々と培ってきたものが土石流のように外部流出し、知らないうちに内部崩壊しているのです。

何故、言葉が乱れているのか。母国語という言葉はあっても父国語という言葉はない。男は死んで腐乱死体となるが、女性は言葉を子に残す。子供の言葉は母

親の言葉であり、旦那への尊敬の欠如が、子供の父親への尊敬をなくす。(しかし、一度なくしたものは取り戻せないのが世の常。)

話し方曲線は、横軸に論理性、縦軸に感動度。起承転結「転」で、感動度の山のピークを持って来る。高いほどいい。挨拶、客観的事実、主観的内容の主張、結びとつながる。

気づいてからでは遅すぎる。ボケは40歳から始まる。右脳を刺激し、感性を磨こう。でも、これを読んでいる大半の人は既に手遅れ。合掌。

西 義裕

## 9月例会 「ウィン・ラボラトリ」見学 (9月24日)

9月例会は、福井コンピュータ(株)技術開発棟「ウィン・ラボラトリ」にて行なわれました。

例会参加人数は約40名、全ての方が施設の豪華さ、すばらしさに驚いた事だろうと思います。

まず建物入口ですばらしさに感心します。一流ホテルのロビーと言っていいぐらいで、広々とした空間の中心に小川があります。一般企業の自社ビルにしてこんなにぜい沢な施設はお目にかかった事がないと思います。次に13階建の建物の12階にある、社員食堂と茶室に案内して頂きました。茶室も、高級和風旅館の一室かと思うほどのすばらしさです。そして順次下の階へと案内して頂きました。各フロアのオフィス内も立派な設備で、社員一人一人のデスクがパーテーションで区切られ、広々としたスペースのもと集中して仕事が行なわれるようになっていました。その後体育

館・テニスコートも拝見しましたが、同じような感想を持ちました。

正直な感想として「なんて儲かっているんだろう」と思いました。不況と言われる世の中で、業績好調の理由を一度お聞きしたいと考えました。

一通り社内を見学した後に、コンピュータのネットワークについてのお話を専務さんからお聞きしました。私自身は知識が不足しているので一割位しか内容が理解できませんでしたが、これからの世の中は、コンピュータが重要な事はわかりました。まず、ワープロを勉強したいと思いました。

今回の例会もそうですが、意欲的に参加する事によって何かを学べます。青年部の会員全てが出席となるよう願います。

清水 多恵治

## 爆裂！サンバカーニバル

フェニックスカーニバルに市民参加のサンバの熱気を。

“みんなで踊ろさ サンバの夏”をスローガンとして、8月1日のフェニックスカーニバルに参加いたしました。

我々青年部は、まつりの原点に戻り、一般市民参加型のまつりをめざして企画しました。

昨年は、フィナーレの15分たらずの出番だったが、今年は90分のみこし大会中サンバみこしと南北のやぐらでサンバを踊り続けることができました。

今年の志向は、サンバみこしを造り(移動舞台)“ダンスグッズ”(変身願望をかなえる)300名分用意し、また、福井の有名な美容室の美容師さんの協力で、カラーペイントを参加者の顔に施し、サンバカーニバルを華やかで、かつ新しい形で踊ることができました。



また、各委員会ごとに、足でサンバカーニバルを告知していただき動員をかけていただきました。その結果、多数の参加者があり、参加された方々からは、サンバに対してのあたたかいご意見を聞かせていただき今後の励みにもなりました。

開始時間が近付くにつれて、どこからともなく集まってきた人々が、開始直前には、山のような人込みになっていました。その人達が、サンバのリズムで体を



動かし、リズムをとり、楽しんでいたように見え、市民参加型のカーニバルになったと、私は感じました。

これからも、福井市独自のまつりを造りあげるため、青年部が一丸となって企画し努力すれば、きっと市民が望んでいるまつりが完成すると思いました。

市民イベント委員会 委員長 大鎌 利規





## 商青連中央研修 ヤングリーダー研修 報告

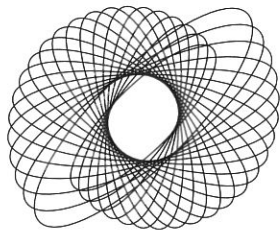
竹内 幹男

私が研修に参加した経緯

実は最初案内を見て「商青連が幹旋する経営セミナー」くらいに思えたので、経営セミナーとしては安い、建設業やソフト業等私の仕事と関連する方々と会えそう、その上3回目は徳島の全国大会とセットになっていて都合が良いという、全く個人的というか安易な動機で申し込みました。

そこで思いがけず青年部からの参加費補助のお話を聞いてはじめて、ああ「YEGのリーダー」研修という名前通りの目的もあるのかと再認識した次第です。そういう意味で11月の徳島に期待しています。

(編集の都合上、竹内さんの報告は2回にわたって掲載します。)



### ●第1回●

・日時：H9年6月13日 ・場所：東京  
・テーマ：「21世紀新潮流」・参加者：約200名

#### ■特別講演

「商工会議所の役割と青年部に期待すること」

日商会頭 稲葉興作氏

まずは会頭の話である。あまり話し振りは上手な方ではないが、各種の数字に強く、実務派の経営者に見えた。その内容としては、「戦後ほぼ一貫して成長してきたことから比べると、現在の日本は曲がり角にいるかもしれないが、世間のムードは悲観的すぎるように思う。具体的なデータをきちんと見ればまだまだすばらしいポジションにいる。ただ、日本の欠点はきちんと直さなければならず、またこれからは自らコンセプトを創りポジティブに実行していくことが大切である。青年経済人に期待するところますます大である。」

#### ■講義1 「閉塞時代を勝ち抜く創破の経営」

タナベ経営社長 田辺昇一氏

73才とは思えないしっかりした動作と大きな声の持ち主であった。福井生まれで終戦の年に大学を出たものの就職先がなく、いろいろと苦労を重ねながら日本にコンサルタント業を確立してきたという豊富な経験に裏打ちされた話を聞いた。「様々な企業をみてきたが力及ばず多くを殺してしまった。」という言葉に氏のまっすぐな姿勢が現れていたように思う。

以下いくつか、企業を伸ばす経営上のポイントとしてあげられた項目を記す。

- ◎ 30人を超えたら家業ではありえず、企業である。
- ◎ 利益とは、回転率まで含めたものをさす。
- ◎ 一人から始める。しかし一人では何もできない。
- ◎ 志、夢、情熱、決断が大事。また決断とは、材料の少ない時に決めること。

◎ 素早い行動は大切だが、撤退基準を明確にして取り掛かること。

◎ 「儲ける、伸ばす」と「儲かる、伸びる」は違う。後者は顧客指向である。

◎ 商売とはドロクさいもの、現品、現場、現実を知れ。

◎ リーダーとは、「やってもらいたいことを伝える能力」を持つ人をいう。

◎ 分野を絞って、まず業界での地域No.1になれ。

#### ■講義2 「蘇れ日本」

政治評論家 森田 実氏

「革命と言えるほどの改革の時代を迎えている。」という言葉で始まり、現在の日本の政治・経済がいかに病んでいるかを説明された。その上で、遅ればせながら英国サッチャー、米国レーガンの進めた政策を参考に、強い日本を創っていかねばならないと続いた。(経済的には供給側に立った自由主義、政治的には新保守主義というところか。中曽根元首相が目指した路線のように思われる。)

後半、現在橋本政権が打ち出している6大改革について言及があったが、何を言いたいのか明確でなく、最後は「この続きは私が出演しているテレビ番組を見てください。」で締めくくられてしまった。

#### ■交流会

場所を移して、交流会が開かれた。会場にいた150名程の参加者のなかで30人強の人と名刺交換できた。結構各単会の会長経験者が多く参加されていたことは、ヤングリーダーという名称からは(私には)意外に感じた。また、2人ほど自社の商品のユーザーと話げできたことも大きな収穫であった。

終了後、大阪からのグループに混じって2次会にも参加でき、有意義な一日であった。

第2回以降は、次号へ続く。

## 夏のレクリエーション (家族キャンプ)

### 織田町・喰付熊キャンプ場

今回のキャンプは、喰付熊キャンプ場で8月23日24日の両日開催しました。前日からの台風の影響で当日は、出来るかどうか不安でしたが、当委員会のメンバーの日頃の行いが良かったのか、見事に良い天気になりました。

私は、キャンプの受付を担当したのですが、当日の参加者と氏名、生年月日を用紙に記入して頂くところで、奥さんの名前を正確に記入できなかったり、子供の生年月日を忘れてたりという「ふとどきなお父さん」が続出したりして…。しかし、お父さん達は、見事にテントを設営し汚名返上。

当日のメインは、なんといっても夕食。日頃、料理などしたことない「ふとどきなお父さん達」はこのときばかり、炭をおこし、焼き肉を黙々とつくり家族サービスに心がけていました。

さて、今回のキャンプの裏方としては、キャンプファイヤーの後、肝試しの準備に取り掛かりました。スタッフが数カ所に隠れ、いろいろな小道具を使い「お化け」となって子供達を脅かし、子供達が「キャーキャー」怖がってくれるはずでしたが、実際には、あまり怖くなかった様でした。反省しています。

翌日は、朝6:00起床、6:30ラジオ体操で高原の朝のすがすがしさを満喫するはずでしたが…。誰も起きて来ない。(企画に無理があったのかな。)

林間学校で宿題をするという企画も、誰も勉強をする意志なし。しかし絵画教室は、真木先生のお陰で非常に好評でした。

丸太切り大会は、張り切りすぎてノコギリをこわしてしまうお父さんがでたり、釘打ちでは、上手に打てなくて熱くなるお父さんがいたりして…。

この後、あの「電光石火2」で有名な、えぼし山頂の大パノラマを満喫しました。

今回のキャンプは、天気にも恵まれ、楽しいキャンプでした。

また次回お会いするのをお楽しみに。

(注) 電光石火2 えぼしキャンプ場で撮影された一部で有名なビデオ。この伝説のビデオが見たい人は、メディア委員会に申し込みれば運が良ければ借りられるかも知れない。

会員交流委員会 柴田 治是



## 夫婦の条件

宇佐美 嘉一

以前フルムーンのCMが流れており、おしどり夫婦が出演、結婚後数十年以上たっても、いまだに恋愛中の恋人同士のような仲のよい夫婦ぶりでした。

結婚前にそのCMを見ていた私には、あまり関係のない話でしたが、結婚3年目の今になると、あの理想的な夫婦関係をつくるには、また長続きさせるにはどうすればよいのか考えることがあります。

そんな時、ある本で『夫婦の条件』という記事を見つけました。要約しますと、

- ① 命令・服従という関係ではなく、夫婦間の力の差が少ない共済の関係を保つ
- ② お互いの育った生活環境に固執せず、二人の新しい生活を築き現在を見つめる
- ③ 感情的に押し切るのではなく、話し合い的会話

## リレーコラム

にする

- ④ お互いに相手を独立した一つの人格と認め、意見を尊重する
- ⑤ 一心同体にならず、相手と違う点はしっかりと表現し境界を明確にする
- ⑥ 肯定的、積極的な感情を共有するという6点です。簡単そうで難しい。日常は平板で、トラブルもいろいろと多いかもしれませんが、意識して楽しい経験を一緒にすることにより、夫婦の絆は強くなるのでしょう。ユーモアの精神も忘れずに、また、恋人同士の頃のようなサービス精神もたまには思い出しましょう。

既に結婚している人も、これからの人も、以上を将来の参考にして、仲のよい夫婦になって下さい。

次回は鎌利規さんをお願いします。

## 第15回 商工会議所青年部 近畿ブロック兵庫大会開催

去る9月5日(金)・6日(土)兵庫県加西市において、近畿ブロック兵庫大会が盛大に開催されました。福井商工会議所青年部からも15名が参加し、ステージ正面を陣取りました。

「直接交流・直接実感」連携そして共生へYEG新たる出発!、また、開催地テーマ「よってこって華彩・青年部パワー炸裂!」、以上のテーマ、スローガンにもとづいた講演・イベント・懇親会が加西市民会

館を中心に行なわれました。

宇野正美氏の迫力のある講演「ビッグバンその目的は何か」、YEGメンバーによるパネルディスカッションの何とすばらしいことか。「YEGよってこって物産展」では、60店舗の大フリーマーケットなど、感動を与えるものばかりでした。

本当に青年部ってすばらしい、仲間ってすばらしいと実感しました。次回(来年)は、鯖江で開催されます。

山岸 寛士



## 新入会員オリエンテーション 及び 先進企業視察

去る9月20日・21日、新入会員オリエンテーション及び先進企業視察が開催されました。

バスの中で、青年部活動の意義、各委員会の活動説明、新入会員の自己紹介、翔生ゴルフクラブの紹介・勧誘等がおこなわれ、今後、私たちは青年部活動をいっそう積極的に取り組まねばならないと思いました。

また、ホテルにて懇談会が催され、先輩の皆様と交流を深めることができ有意義な時をすごせました。

視察地としては、(株)ダイフクの倉庫物流装置(マテハンという)展示工場

(滋賀県)、大阪に入って霞町開発プロジェクト・フェスティバルゲート、大阪ドーム・フェスタモールを見学しました。大阪のどちらの施設も人で込みあっており活気がありました。人々は、FUNを求めており、FUNを演出できるアミューズメント施設が大阪では開発されていることが視察できました。福井においても遊技場、カルチャー施設(映画館・劇場等)、ショッピング、飲食店等が複合されたアミューズメント施設の必要性を感じます。

帰りの車内では、清川メディア委員会副委員長の主演・監督の格闘技ビデオ作品『電光石火』の上映会がありました。たいへんおもしろい力作です。青年部会員の皆様には無料貸し出しOKとのことでした。

大林 直人



## 地域のまちづくりに青年部も応援

「ときめきハートランド旭」・「旭のまちづくりシンポ」

「ときめきハートランド旭」の行事の一環として、「旭のまちづくり区民対話シンポジウム」が、去る9月28日午前、旭公民館にて行われました。

駅周辺整備事業に伴い、大きく変わろうとしている旭地区。今こそ長い間の「駅裏」というイメージから脱却するチャンスととらえ、心豊かな、住みたくなる町、旭とするための提案を区民それぞれの立場で発表していただく事を主旨として行なわれました。

パネラーとして、壮年代表、うらが街づくり再開発研究部会、旭をデザインする会、高齢者代表、婦人代表、外から見た旭地区という事で我が青年部より永井



市民ネットワーク副委員長が出席しました。

環境問題・高齢者問題・福祉問題・ドーナツ化現象による人口流出問題など幅広い視点からの旭地区への提案が出されました。前回のシンポの提案から花壇コンテスト、歴史についてのビデオ、カンパンなど出来る事から実行に移されています。街づくりのモデルケースとして、今後ともがんばっていきましょう。他地区との交流もさらに広げ、自らの手で自分たちの街を作る。このような人たちの和を広げ福井市全体がよりよくなる様、市民ネットワーク委員会も努力していきます。

田谷 仁一



## 言いたい放題

私達は最近感性をみがいているだろうか。実は私自身「すごい」とか「きれい」とか感ずることが少ない。もっと感性を研ぎすませていたいと思う。かなり前だが福井で近プロがあった。そのときのことを思い出すと、「えっ!」という少しの驚きや「なるほど」というわずかな発見を大事にした。参加された人には、結構新鮮だっただろう。この小さな差をつくりだすことがたいへんなのだ。私たちは常にこの差を求めて行動をしていきたいものだ。

政治無関心が頂点に達しようとしている。この政治の乱れ、腐敗、税金のムダ、官僚の横暴などすべて結果は国民の無関心が原因である。

政治家のレベルは国民のレベルと等しい。政治的無関心がいかに重大に我々の日常生活に影響を及ぼすのか自覚し、できることから楽しめるものから学び動き始めなければもうひき返せない時期にきている。生活の1%を政治に目を向けよう。

ここ1~2年、福井の映画館が少なくなって非常にさみしい。ほとんどのメジャーな映画はやるが、マイナーな映画が来ない!もしくは、遅い。メトロ会館のように、本当にいい映画を上映する小映画館ができないだろうか?

みゆき座がなつかしい!シネマプラザが恋しい!

私の青春の映画館帰ってこいよ!



# YEG 伝言板

波動の世界へ！中国から輸入された黒米を使用した枕を販売開始！快眠を叫ばれて久しいが、この枕をして健康睡眠時代に対応しよう。穀類の中で最良の汲動を持つ黒米枕で、もともと持っている人間力を高めよう。

＜松村 顕＞

連絡先：(株)大丸商店  
TEL：0776-21-3150

この度、磯谷力学療法を基にした整体院をオープンしました。これは股関節の矯正により正しい背柱を作り上げ、すべての病気を根本から直すという第三の医学といわれるものです。ぜひどんな症状の方も一度ご相談下さい。

＜市川しげる＞

連絡先：龍王整体・和尙  
住所：福井市舞屋町15-28-2  
TEL：0776-34-0607

10月より、中華鍋、中華風シャブシャブを始めました。忘年会・新年会・コンパなどの時にぜひ御利用下さい。御予算や内容は、お気軽に御相談下さい。また、季節物も多々ご用意しております。ご来店お待ちしております。

＜田中 裕務＞

連絡先：中華風居酒屋 チャイナ・ジャム  
TEL：0776-28-3574

## 編集後記

皆さん、今回は表紙でいきなりびっくりしたのではないのでしょうか。今までにない思い切った企画を、ということで、福井でキャンプ中のヴェルディ川崎、柱谷選手に強引にお願いし、会長・副会長との緊急対談を試みました。(株)ヤスサキの安崎社長へのインタビューもいかがでしたか。次号でも面白い目玉企画を検討中ですのでどうぞご期待ください。

メディア委員会 副委員長 福岡 靖

お好きな

ドーンと  
携帯電話・PHS **15台**

《期間》 11/11[火]~20[木] **プレゼント!**

◎お申し込みの方【全員】に年内有効1,000円割引券進呈。  
住所・氏名・年齢・職業・TELを明記の上FAX又は葉書(締切日必着)で!  
(来店も可) (当選は21日本人あてへ通知いたします。)

裁判所前

ポケットショップ  
福井中央

TEL 29-1500 FAX 29-2400

RING 株式会社リング

代表 松川 剛之

ワイプラザ店オープン

ワイプラザ/2F ☎0776-52-5380



美容室

マリージョゼ

MARIE-JOSE

この宮本店 TEL(0776)23-2515  
デュオ北の庄店 TEL(0776)27-2522  
リーベ駅正面店 TEL(0776)28-3790